

稲沢北小学校だより

きずな

第127号

TEL 0587-23-1555

Eメールアドレス
es-inazawan@inazawa-aic.ed.jp

R 5 . 1 2 . 1 2

芸術鑑賞会「オズの魔法使い」

11月7日（火）に、劇団トマト座による、ミュージカル「オズの魔法使い」を全校児童で観劇しました。

主人公のドロシーと、脳をもたないかかし、心のない木こり、臆病者のライオンと一緒に冒険をし、成長していく話でした。

児童は最初、静かな様子で観劇をしていましたが、話が進み、かかしが自分の頭で考えられるようになってきたり、木こりが優しい心もち始めたり、ライオンが勇気を出すことができるようになったりするにつれて、自然に「がんばれ！」と応援の声を出すなど、全校児童とドロシーの仲間たちが心をついにしながら、一緒に冒険をしているようでした。児童の感想の中には、「これからも自分が『もうだめだ』と思っても、あきらめない気持ちを大切にします」「一番勉強になったことは、がんばってやることです。がんばってやると、先にいいことがあると思いました」「今日勉強になったことは、みんなで協力することです。わたしも皆で協力しようと思いました」などと書かれており、観劇から多くのことを学びました。



1年「昔遊び」

9月に西町さざんか児童センターの方に外部講師として来ていただき、集団遊びやこま、けん玉などの伝承遊びなどを紹介してもらい、その楽しさを知りました。

12月8日（金）に行われた稲北フェスティバルでは、全校の皆に楽しんでもらえるように「わくわく たのしい むかしあそび」というお店を開きました。

お客さんに楽しんでもらえるルールを自分たちで考えたり、お店の看板を素敵な絵で飾ったりと準備のときから張り切っていました。当日は、元気な声でお客さんを呼び込み、丁寧にルールを説明するなど、どの子も一生懸命に活動する姿がありました。



6年生

修学旅行



10月11日（水）から1泊2日で修学旅行に行きました。初日は京都に行きました。金閣の輝きに心を奪われ、友禅染体験ではハンカチ作りを楽しみました。清水寺では間近で見る迫力のある造りに驚き、平等院では左右対称できれいな建物の姿に感動しながら見学をしました。見学先でも旅館の中でも、マナーを守ることができるよう意識しながら行動しました。2日目は奈良に行きました。大仏の大きさに驚き、鹿との愉快的ふれあいを楽しみ、修学旅行を最大限楽しむことができました。最終訪問地の法隆寺では、さすがに疲れが見えましたが、思い出いっぱいの修学旅行になりました。



2年 「まちたんけんでしらべたよ」

地域の人達が働いている様子を子供達が学習するために、学校近隣の施設や企業の方々にご協力いただき、さまざまな発見をさせていただきました。郵便局や動物病院、産婦人科、私立高校と子供たちが調べたい施設を決め、「どの



のように働いているのか」「どんなやりがいがあるのか」をインタビューさせていただき、地域の人達と自分達の生活に密接に関わりがあることに気付いたり、自分が働くとなった際に、自分たちも地域の人達と同じようにに貢献したいと、将来への期待やイメージを膨らませながら友達と語り合っていたのがとても印象的でした。

3年 「校外学習」

10月17日（火）に実施した校外学習では、働く人の姿や工夫を学ぶことをテーマに、愛知県警察本部と国府宮神社（尾張大國霊神社）に見学に行きました。愛知県警察本部では、警察の方々がどのような仕事をしているのか話を聞いたり、実際に使われている道具を見たりしました。子どもたちは、普段はなかなか見ることができない通信指令室や交通管制センターに興味津々で、目を輝かせながら見学する様子が見られました。また、実際に使われていた白バイに乗ったり、タブレットを使ったゲームに挑戦したりして、楽しみながら警察の仕事について学ぶことができました。



国府宮神社では、神社の歴史について学びました。国府宮神社の由来や神社ができた時期、はだか祭りの起源や歴史などについて、神主さんから話を聞きました。身近にある神社の知らなかったことや長い歴史に驚きながら、一つ一つメモをとる姿が見られました。また、普段は外側から見るが多かった拝殿の中に入ったり、拝殿の奥にある、神社ができる前からあったとされる5つの石を見せてもらったりしました。子どもたちは、自分たちが住む稲沢市に、まだまだ知らないことがあることに気付き、もっと稲沢市について知りたいという思いを強くしていました。



6年 「郷土学習」

11月10日（金）に稲沢市荻須記念美術館へ行ってきました。学芸員の方の説明のもと、荻須高德氏が描いた作品を見たり、アトリエを再現した場所を見学したりしました。また、気に入った作品を選び、模写する時間には、どの作品にも感じたことや気付いたことがたくさんあり、作品を選ぶだけでもかなりの時間がかかりました。「水面に反射する建物を表現するためには、薄いだいたい色を混ぜていること」や「雪の白い部分に絵の具を重ねて塗ることで立体感を出していること」などに気付く児童もおり、細かい部分にまで意識をし、集中して丁寧に絵を描き写す姿が見られました。

